

平成 30 年度

**第 2 回松戸市地域自立支援協議会
専門部会活動報告書**

平成30年度 松戸市地域自立支援協議会 地域生活支援部会

【活動目的】

1. 障害者が住み慣れた地域で、自分らしく住み続けるための支援体制の確立
2. 障害者が可能な限り、本人の望む地域で、他の人々と共生し、生活できるための支援体制の確立

【活動内容】

第1回の報告に引き続き、国の重点施策である「地域包括ケアシステム」・「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」構築という観点から、①精神科病院の退院支援に関すること②障害者の高齢化に関すること③障害者の医療問題の3つを中心に、部会員を3班に分け、各々のテーマについて話し合っています。

昨年度初めて開催した松戸市総合防災訓練の講義について、今年度も引き続き参加しました。また総合防災訓練参加に先立ち、同じく危機管理課が開催している小金原地区防災訓練の見学に行きました。

【平成30年度後期の活動実績】

日 程	会 場	内 容
第1回 4/12	松戸市役所新館9階会議室	1. 部会員の自己紹介 2. 自立支援協議会および地域生活支援部会についての説明 3. 役員選出 4. 今年度のテーマについて 5. 年間活動計画 6. 各班で話し合い
第2回 5/10	松戸市役所新館8階会議室	1. 1回目欠席の部会員自己紹介 2. 前回の振り返り 3. 各班で話し合い
第3回 6/14	〃	1. 1回目2回目欠席の部会員自己紹介 2. 総合防災訓練について 3. 班構成の調整 4. 各班で話し合い
第4回 7/12	〃	1. 総合防災訓練の報告 2. 本会議報告内容共有 3. 各班で話し合い
第5回 8/16	松戸市役所新館8階会議室	1. 本会議の報告 2. 各班で話し合い
9/8	小金原体育館	小金原地区防災訓練
第6回 9/13	〃	1. 小金原地区総合防災訓練の報告 2. 総合防災訓練の準備

		3. 各班で話し合い
第7回 10/11	//	1. 総合防災訓練（当日の流れ共有） 2. 各班で話し合い
第8回 11/8	//	1. 各班で話し合い
11/10	松戸市立第三 中学校	総合防災訓練
第9回 12/13	松戸市役所新 館8階会議室	1. 総合防災訓練の報告 2. 各班で話し合い
第10回 1/10	//	

【成果】

①前回報告時に課題となっていた、病院から退院するにあたって、患者本人が退院後の生活のアセスメントを行う場がない、という課題に対し、退院支援を行う病院だけでなく、受け入れ側となり得るグループホーム、またその支援を行っていく相談支援事業所の現状把握を行うことを目的として、アンケートを作成しています。

②高齢者分野で開催されている研修として、地域包括支援センターの社会福祉士部会で開催されている勉強会に呼ばれて講習を行いました。また、居宅介護支援連絡協議会（ケアマネージャーの勉強会）でも研修をしてほしいという依頼がありました（時期は未定）。

③障害者が適切に医療につながるできない、という問題から、既存の資源である一般相談支援事業所と障害福祉事業所が、実際医療につながる支援を行っているか、ということの聞き取りを行うことになりました。現在聞き取り項目の精査を行っています。

④昨年に引き続き、危機管理課が開催している総合防災訓練に参加しました。

講義の内容：(1)精神障害、軽度知的障害や発達障害などの目に見えづらい生きづらさについて

(2)災害時の避難所には、それらの人たちを含めた様々な人がやって来るということ

(3)精神疾患は誰もがなりうるので専門家に相談することに抵抗を感じる必要がないこと

講義の形式：説明、および体験談に関するインタビュー。15分程度を6セット。

配慮したポイント：中学生が中心対象者のため、講演後に学校内で障害者探しのようないじめにつながらないように、内容や使用する言葉を検討した。説明時間が短かったため、別途パンフレットを作成。聴講者および、他の参加団体（自衛隊・医師会・獣医師会・警察・NTT等）に配布。

【課題】

- ①来年を目途にアンケート調査を行う予定ですが、病院、グループホーム、相談支援事業所の各分野の現状を共有する場については今後検討していく必要があります。

- ②高齢者分野の担当者から、「障害分野の研修を行いたい」という話はいただくものの、障害の知識がないため、研修を開催しようとしても何を依頼すればいいのかわからないという声もありました。障害の分野でどのような研修ができるのか、という一覧をまとめ、高齢者分野の方々が依頼しやすい仕組みを作っていく予定です。

- ③聞き取り調査を行った上で、そこで出た問題点を自分たちだけのものとせず、医療と障害福祉従事者の相互のスキルアップにつなげていくことが課題になり、その方法を検討していく予定です。

- ④主催である危機管理課からの依頼があれば、来年度も同様、精神障害、軽度知的障害や発達障害などの目に見えづらい生きづらさを伝えていく予定です。

【次年度の活動内容】

日程	会場	内容
4～8月頃		①病院、グループホーム、相談支援事業所へのアンケート実施。取りまとめ。 ②研修一覧の作成。高齢者分野での研修。 ③医療につなげる支援を行っているか、聞き取り調査。
9～2月頃		①病院、グループホーム、相談支援事業所の現状を共有する場、共有方法について検討。 ②研修一覧の修正。高齢者分野での研修。 ③医療と障害福祉事業所、相互のスキルアップの方法を検討。 ④総合防災訓練への参加（11月頃の見込み）。

平成 30 年度 松戸市地域自立支援協議会 相談支援部会

【活動目的】

1. 計画相談の作成率及び質の向上を目的に、松戸市の相談支援体制の役割を分析・改善し、支援体制の充実を図るとともに、他分野との連携の強化を進めていく。
2. 障害がある当事者やその家族が生活に必要なとする支援について検討していく。

【活動内容】

下記の活動実績に記載のとおり、平成 30 年度下半期においては主に

1. 計画作成率向上へ向けた分析
2. 「相談支援事業所連絡会」設置へ向けた取組み

に取り組んだ。

【平成 30 年度の主な活動実績】

日 程	会 場	内 容
第 1 回 4月5日(木)	ふれあい22 3F 創作活動室1	①平成 30 年度活動計画 ②スキルアップ研修企画 ③平成 30 年度法改正に関する連絡
第 2 回 5月10日(木)	〃	①松戸市相談支援体制に関するアンケート(案)の検討 ②相談支援ガイド(今後の修正、配布方法について) ③一般校との連携(特支級設置校・松特連でのプレゼンの提案)
第 3 回 6月7日(木)	〃	①松戸市相談支援体制に関するアンケート集計の中間報告 ②特支級設置校校長会でのプレゼン(5/16)の報告 ③常盤平地区福祉事業所情報交換会の報告
第 4 回 7月5日(木)	〃	①自立支援協議会第 1 回本会議資料の確認 ②松戸市相談支援体制に関するアンケートの結果報告・意見聴取 ③平成 30 年度下半期へ向けた課題・テーマの抽出
第 5 回 8月2日(木)	〃	①市内の計画相談作成状況の報告・分析 ②特支級設置校校長会でのプレゼン(6/29)の報告 ③相談支援ガイド(アンケートフォーム) ④スキルアップ研修実施の報告
第 6 回 9月6日(木)	〃	①自立支援協議会第 1 回本会議の報告 ②計画作成率向上のための状況分析、具体的取組みの検討
第 7 回 10月4日(木)	〃	①「相談支援事業所連絡会」設置の提案、意見聴取

日 程	会 場	内 容
第 8 回 11月1日(木)	〃	①「相談支援事業所連絡会」位置づけの確認 ②平成31年度相談支援体制についての検討 ③精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について（会議報告）
第 9 回 12月6日(木)	〃	①「相談支援事業所連絡会」運営方針及び1回目実施へのスケジュール確認 ②平成31年度相談支援部会活動方針の検討
第 10 回 1月10日(木)	〃	①「相談支援事業所連絡会」1回目実施内容について ②平成31年度相談支援部会活動スケジュールについて

【成果】

1. 計画作成率向上へ向けた分析

前回本会議の部会活動報告では、市内のサービス等利用計画作成率の伸び悩みを課題のひとつとして示した。問題の所在を明らかにし、相談支援事業所を後押しする体制の整備へとつなげるため、部会の中で以下のとおり分析と検討を行った。

- (1) 市内のサービス等利用計画作成状況につき、障害別・地域別・利用サービス種類等でデータ集計し、実態を部会にて分析した。その結果、利用者のサービスの種類や併用状況ごとの傾向が明らかとなり、今後、計画相談利用のニーズを高めるためのアプローチを行うこととした場合に、方向性を決める材料を得ることができた。
- (2) 対応を検討する中、相談支援事業所ごとで、計画受入れに係る認識やスタンスに開きがある現状が浮かび上がった。相談支援事業所間相互の問題意識の共有や助け合いを進めるとともに、事業所それぞれが抱える課題や実情を部会へ吸い上げるため、市内事業所の横のネットワークづくりを進めることが先決であるとの結論に至った。その結果、後述の「相談支援事業所連絡会」設置へ向けた検討を行うことに繋がった。

2. 「相談支援事業所連絡会」設置へ向けた取組み

障害福祉課では毎年1回「松戸市相談支援事業所連絡協議会」を開催していたところ、これは市と相談支援事業所との間での情報共有や、運営に係る集団指導の場として運用されており、先述のような「事業所間の横のネットワーク」を形成する機能は薄かった。そこで、かかる機能を持った連絡会の設置へ向け、平成31年度からの開催を目標として、部会で取り組むこととした。

- (1) 連絡会の設置にあたって、近隣で既に連絡会が形成されている自治体（柏、市川、浦安）から、設置の経緯や運営形態等の情報を収集。また、「相談支援事業所を中心とした個別支援会議で地域課題を抽出する」という手法が取られている東京都大田区へ、会議の視察を実施した。これらで得られた情報を元に、部会内で議論を進め、松戸市の地域の実情や相談支援事業所のニーズを踏まえた設置方針を固めていった。

(2) 連絡会設置の意義としては、以下のことが期待される。

ア. 各相談支援事業所・相談支援専門員のフォロー・関係構築

各相談支援事業所が抱える困りごとの共有や、支援に関するアドバイスや工夫等の情報交換を互いに行うことで、顔の見える協力関係が作られ、相談支援のモチベーションの維持（孤独感の緩和）、スキルの底上げ等が実現される。

イ. 地域課題の抽出・反映

相談支援事業所が個別の支援事例で抱える課題を連絡会で出してもらい、そこから地域に共通する課題を部会で抽出・確認・整理する。それにより、支援現場の声を自立支援協議会の方向性へ反映させる仕組みが作られる。

ウ. 地区ごとの身近な連携体制への発展

今年度上半期に実施し、前回の本会議で報告した「相談支援体制の実態調査アンケート」の結果からは、とりわけ、地区ごとの身近な連携体制が必要とされている状況が確認された。連絡会で形成された相談支援事業所の横のネットワークをベースに、ゆくゆくはサービス事業者等も巻き込んだ地区単位の顔の見える関係に落とし込むことで、そのような身近な連携体制へ発展させていくことが期待できる。

エ. 障害以外の分野との連携

連絡会の実施内容の中で、高齢者分野や児童分野など、障害福祉以外の分野との交流も積極的に行っていくことで、分野横断的な支援体制の構築に寄与する。

(3) 平成 31 年 1 月 29 日（火）に実施の「松戸市相談支援事業所連絡協議会」内で、市内相談支援事業所へ向けて、連絡会設置構想のご説明と参加のお願いを行った。本会議での承認をいただいた上で、3月末までに次年度の年間開催スケジュールを固めていく。平成 31 年 4 月第 4 週頃に第 1 回目を実施し、継続的に定例開催することを予定。

【課題】

1. 連絡会の事務局運営

4 月から開催する連絡会については、相談支援部会が事務局として企画運営を行っていく。来年度 1 年間をかけて連絡会を軌道に乗せるには、日々の支援で負担の大きい相談支援事業所に対して積極的な参加を促せる実施内容を企画できるかがキーとなる。上述の設置目的・意義を念頭に、連絡会で示された意見・要望等を企画内容にフィードバックし、相談支援事業所のニーズとマッチングさせる事務局運営が肝要と思われる。

また、連絡会で抽出される地域課題には、他の部会と調整して取組みを検討すべきものも出てくると予想されることから、他部会とも密に連携し積極的な情報交換に努めることが求められる。

2. 他の重要課題

委託相談支援事業所を中心とした市内相談支援体制の整備に関しては、相談支援部会の重要テーマとして前年度以前から扱われてきたところ、今年度下半期においては連絡会設置に向けた検討が中心だったこともあり、十分な議論を進められていない。今後、各保健福祉センター圏域における地区ごとの連携体制整備が重要になると予想されるため、改めて相談支援体制の評価検討を進めていく必要がある。

また、障害福祉以外の分野との関係構築については、昨年度の地域包括支援センターとの勉強会や、今年度上半期の教育機関向けプレゼンなど、継続的に取り組まれてきたが、これについても下半期は一時中断の状態にあった。地域での分野横断的な支援体制構築のため、改めて取り組みを進める必要がある。

なお、これら重要課題の検討にあたっては、連絡会設置による相談支援事業所のネットワーク形成をベースとして、一体的な取り組みを行っていくことを想定している。

【次年度の活動内容（予定）】

日 程	内 容
4月～8月頃	①相談支援事業所連絡会の企画・運営（上半期） …1回目では事業所の顔合わせ、各事業所の特徴・困りごとを共有。事業所自身のニーズ・困りごとを反映させつつ実施プログラムを企画検討し、連絡会の定着と地域課題の抽出を目指す。定例開催の上、7～8月を目途に、連絡会で抽出された地域課題を中間まとめ。 ②福祉まるごと相談窓口での対応内容・連携実績の把握。連携時の課題や受け入れ態勢を整理。 ③地域包括支援センターとの情報交換。合同事例検討の実施検討 ④教育機関との情報交換。障害福祉に関する理解度を深めるためのアプローチ。
9月～3月頃	①相談支援事業所連絡会の企画・運営（下半期） …事例検討・報告等を通じた地域課題の掘り下げや、地区ごとのグルーピングや勉強会実施のといった展開を検討。年度末へ向けて、地域課題とその対応方針を取りまとめるほか、連絡会で挙げられたケース対応を支援事例集として編集し、相談支援事業所のフォローアップのツール作りを目指す。 ②高齢者分野・子ども分野等との連携を見据えた相談支援体制の整備。福祉まるごと相談窓口を軸に、各機関の役割を整理・見直し。 ③地区ごとの相談支援事業所とサービス事業所、地域包括支援センター等関係機関との顔合わせ。分野横断的な交流会・勉強会の企画。

【活動目的】

1. 障害者雇用の拡大

第 5 期障害福祉計画の福祉施設利用者のうち、一般就労への移行者数の目標値 117 人を達成するよう、松戸市内就労系障害福祉サービス事業所の移行率及び定着率の向上、また企業の障害者雇用への周知、連携を図る。

2. 賃金、工賃向上

就労系障害福祉サービス事業を利用されている利用者が自立した生活を送ることができるよう、事業所の賃金・工賃向上ができる施策、または体制を検討する。

【活動内容】

1. 就労継続支援事業所のネットワークづくり
2. 障害者の周知・啓発
3. 事業所職員の質の向上を目的とした研修会

【平成 30 年度前期の主な活動実績】

1. 会議開催

日 程	会 場	内 容
第 1 回 4/10 (火)	松戸市役所	① 委員自己紹介 ② 今年度活動目的の決定 ③ 各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討
第 2 回 5/8 (火)	松戸市役所	各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討 工 賃 班：就労継続支援ネットワークの開催 一般就労班：今年度取り組む内容の決定
第 3 回 6/12 (火)	松戸市役所	各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討 工 賃 班：第 1 回就労継続支援ネットワークの 内容・役割分担 一般就労班：・ 4 市合同企業向け雇用セミナー準備会 メンバーの選出、内容の検討 ・今年度取り組む内容の具体策について 検討
第 4 回 7/10 (火)	松戸市役所	各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討 工 賃 班：・ 第 1 回就労継続支援ネットワークの 反省・感想 ・ 第 2 回内容の検討 一般就労班：・ 4 市合同企業向け雇用セミナーの松戸 市（案）の作成 ・ 企業向けアンケート及び企業とのコラ ボの具体的内容検討
7/19 (木)	柏市役所	第 1 回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第 5 回	松戸市役所	①第 1 回自立支援協議会 本会議 前期活動報告

8/22 (火)		②工賃状況等調査の結果報告 ③アセスメント研修会の実施検討 ④各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討 工賃班：・第2回内容の検討 一般就労班：・第1回準備会の報告及び内容の検討 ・企業向けアンケートの内容検討
第6回 9/11(火)	松戸市役所	各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討 工賃班：第2回内容の最終確認 一般就労班：企業向けアンケートの内容検討
9/20(木)	柏市役所	第2回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第7回 10/9(火)	松戸市役所	各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討 工賃班：・第2回の反省・感想 ・第3回のテーマ、日程、会場の決定 一般就労班：・第2回準備会の報告・内容検討 ・企業向けアンケートの送付先検討
10/26(金)	柏市役所	第3回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第8回 11/13(火)	松戸市役所	①アセスメント研修の講師検討 ②各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討 工賃班：・第3回の講師検討、役割分担 ・今年度の体制等についての振り返り 一般就労班：・第3回準備会の報告・内容検討 ・松戸中央ライオンズクラブ例会での講演について
11/29(木)	柏市役所	第4回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第9回 12/11 (火)	松戸市役所	①松戸市の現状と課題の抽出 ②各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討 工賃班：第3回の反省・感想 一般就労班：第4回準備会の報告
12/20 (木)	柏市役所	第5回企業向け障害者雇用セミナー準備会
第10回 1/8(火)	松戸市役所	①課題の整理、次年度の活動方針検討 ②アセスメント研修会の役割分担 ③各班に分かれて平成 30 年度部会活動内容検討 工賃班：第4回の内容検討 一般就労班：第5回準備会の報告、最終確認

2. 研修会または講演会

(1) 就労継続支援ネットワーク

	日時・会場	出席者	内 容
第1回	平成 30 年 6月21日(木) 16:30~18:30 健康福祉会館 3階会議室	17 事業所 26 名	①ネットワークの目的確認 ②自己紹介(各事業所発表)

第2回	平成30年 9月26日(水) 16:30~18:30 松戸市役所 別館地下1階 研修室	18事業所 24名	・出勤率の向上 ・工賃向上 ・人材確保・育成 この中から2つのテーマを選択し、グループディスカッション
第3回	平成30年 12月6日(木) 16:30~18:00 松戸市役所 別館地下1階 研修室	15事業所 17名	講演:「障害特性について(発達、知的)」 講師:千葉障害者職業センター 松本 聡恵 氏
第4回 (予定)	平成31年 3月8日(金) 16:30~18:30 松戸市役所 別館地下1階 研修室		講演:「障害特性について(精神)」(案) 講師:TERRA

(2) 松戸中央ライオンズクラブ 1000回記念特別例会での講演

日 時 平成30年12月19日(水) 18時~19時の中の20分

会 場 ロイヤルガーデンパレス柏日本閣

参加者 約100名

内 容 松戸中央ライオンズクラブの1000回記念特別講演として、松戸市の現状、「共に活動できること」を主にライオンズクラブが実施している地域貢献活動と障害者の連携についてお話をさせていただきます。

(3) アセスメント研修会

日 時 平成31年1月28日(月) 10時~17時

会 場 松戸市役所 議会棟3階 特別委員会室

対 象 就労系障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター

講 師 社会福祉法人あひるの会 あかね園 センター長 松尾 公平 氏

内 容 午前:アセスメントの目的、行動観察のポイント等の講義形式
午後:事例検討等のグループワーク形式

(4) 4市合同企業向け雇用セミナー(予定)

日 時 平成31年2月8日(金) 13時~16時

会 場 我孫子南近隣センター 9階ホール(けやきプラザ内)

対 象 障害者雇用を考えている企業または障害者を雇用している企業

内 容 基調講演 参議院議員 今井絵理子氏

パネルディスカッション バロクダ ヴァンリミテッド、仁和運送、新松戸中央
総合病院

3. 障害者雇用に関するアンケート調査

- ・発送日 平成30年11月30日(金) ・回収締切 平成31年1月11日(金)
- ・送付事業所数 300件 ・回答件数 123件 ・回答率 41%

【成果】

1. 就労継続支援ネットワークの開催

今年度より就労支援部会主催において、計3回開催した。第2回のアンケート結果において、「顔の見える関係性作りのきっかけになったか」という問いに対し、アンケートに回答した9割以上が「なった」と回答。また、「他の事業所の課題や取り組みを共有することで、貴事業所の課題解決の参考になったか」という問いに対し、9割が「なった」と回答。さらに、第3回のアンケート結果より、事業所に従事して1年以内の方が参加者の半数であったことから、人材育成の場として、当該ネットワークを活用していただけたことが把握できた。これらの結果から、事業所の「顔の見える関係づくり」、「課題解決の場」、「人材育成の場」として活用いただけたことが読み取れ、当該ネットワークが事業所の質の向上に貢献したと考えられる。

2. 障害者に関する周知啓発

(1) 障害者雇用

4市合同企業向け雇用セミナーは、今年度で3回目となるため、ハローワーク松戸より障害者0人雇用の業種割合を出していただき、業種を絞ってパネラー選定を実施し、より雇用に結びつけられる内容を検討できた。(1位 製造業、2位 卸売業・小売業、3位 医療・福祉)。また、障害者雇用に関するアンケート調査を実施。障害者雇用の経験のある企業75社、雇用未経験企業48社の計123社より回収できた。分析はこれからだが、当該アンケートをきっかけとして、雇用未経験企業11社よりセミナー案内の送付希望や雇用未経験企業3社より相談、勉強会を希望と回答いただけたことから、周知啓発について一定の効果があったと言える。

(2) 障害者理解

松戸中央ライオンズクラブの1000回記念特別例会で講演したことにより、松戸市の障害者の現状について、広く周知することができ、一定の効果はあったと考えられる。今後は、松戸中央ライオンズクラブと障害者が共に行う地域貢献活動について、事業所への参加依頼を実施し、具体的に進めていきたい。

【課題】

1. 就労継続支援ネットワークの今後

今年度及び来年度においては、就労支援部会主催で開催していく予定としているが、最終的には、就労継続支援事業所が主体的に開催していくことを目標としている。そのため、どのようにサポートしていくことで、主体的に開催可能か体制及びタイミング等検討していく必要がある。

今年度の取り組みから、事業所職員のスキルアップにおいて、当該ネットワークは有効なことがわかったが、一方で、工賃向上について具体的に話し合う場を設けることはできなかった。工賃向上について、当該ネットワークで話し合うことは難しいという意見も出ていたため、工賃向上のための当該ネットワークの役割について検討していく。

2. 障害者雇用に関する企業への周知啓発

法定雇用率の引き上げによって、障害者雇用について企業の意識は高まってはいるが、

雇用率達成のみを重視する企業も出ている。障害者雇用に関し、企業の意識の高まっている今だからこそ、福祉側から企業に向けた障害者理解の周知啓発の取り組みが重要と考え、今年度取り組みもうとしたが、企業側へのアプローチ・受入れが難しかった。アンケート調査結果を基に企業側へアプローチしていく手法・対策について、引き続き検討していく。

3. 就労定着支援

今年度より、就労定着支援事業が新設されたが、市内就労定着支援事業の指定を受けているのは移行支援事業所であり、現時点において就A型・B型より市内就労定着支援事業に引き継がれた方はいない。

重度な方の就労定着支援について、障害者就業・生活支援センターも含め、各関係機関と意見交換をしながら、役割分担及び円滑につなげていくための体制づくりを考えていく必要がある。

【次年度の活動内容（予定）】

日 程	内 容 (案)
4月～8月頃	<p>工 賃 班：・就労継続支援ネットワークの開催回数、内容の検討 (事業所の質の向上及び農福連携も含めた工賃向上、就A型・B型の定着支援)</p> <p>一般就労班：・4市合同企業向け雇用セミナーの準備 ・アンケートを基に企業のみ意見交換会（7月頃） ・松戸中央ライオンズクラブと地域貢献活動</p> <p>全 体：・定着支援について各関係機関よりヒアリング等</p>
9月～3月頃	<p>工 賃 班：・就労継続支援ネットワークの開催 ・来年度の就労継続支援ネットワークの体制について検討</p> <p>一般就労班：・4市合同企業向け雇用セミナーの準備と開催 ・松戸中央ライオンズクラブと地域貢献活動</p> <p>全 体：・定着支援についての意見交換</p>

平成30年度 松戸市地域自立支援協議会 権利擁護部会

【活動目的】

障害者の虐待防止、養護者に対する支援や権利擁護に関する課題等について、情報提供や関係機関等の連携を図るとともに、課題解決に向けて専門的に検討し、障害者等への支援体制の整備を図る。

【活動内容】

1. 市の障害者虐待の対応・終結過程に関する報告と検証を行う。
2. 障害者虐待防止及び権利擁護等を図るための課題整理や検討を行い、具体的な方法を考案し実施する。
3. 障害者虐待防止・権利擁護に関する研修や啓発の企画、実施を行う。
4. 障害者差別解消支援地域協議会との連携・情報共有を行う。

【主な活動実績】

1. 会議開催（年6回開催）

	日程	会場	内 容
1	4月27日(金) 15:00～ 17:00	新館9階 会議室	① 上半期計画について ② 障害者虐待防止ネットワークについて ③ 従事者向け研修について
2	7月27日(金) 15:00～ 17:00	新館9階 会議室	① 権利擁護部会 当面の進め方について ② 障害者差別解消支援地域協議会との連携・情報共有の方法について ③ 従事者向け研修について ④ 自立支援協議会本会議における活動報告（案）について ⑤ 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証
3	9月28日(金) 15:00～ 17:00	新館9階 会議室	① 自立支援協議会本会議における活動報告について ② 障害者差別解消支援地域協議会との連携・情報共有の方法について ③ 従事者向け研修について ④ 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証
4	11月30日(金) 15:00～ 17:00	新館9階 会議室	① 従事者向け研修について（報告） ② 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証 ③ 職員向け・市民向け研修について
5	1月25日(金) 15:00～ 17:00（予定）	新館9階 会議室	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証（予定） ② 自立支援協議会本会議における活動報告（案）について（予定） ③ 障害者権利擁護講演会について（予定）
6	3月22日(金) 15:00～ 17:00（予定）	未定	① 障害者虐待通報事例の現状及び対応報告、検証（予定） ② 自立支援協議会本会議の報告（予定） ③ 障害者権利擁護講演会の振り返りについて（予定）

2. 障害者虐待の対応・終結過程に関する報告と検証

	養護者虐待		施設従事者等虐待		使用者虐待		計	
	通報・届出件数	虐待認定件数	通報・届出件数	虐待認定件数	通報・届出件数	虐待認定件数	通報・届出件数	虐待認定件数
平成24年度	22	7	1	1	1	0	24	8
平成25年度	20	7	5	0	1	1	26	8
平成26年度	12	2	2	1	0	0	14	3
平成27年度	17	7	5	1	0	0	22	8
平成28年度	29	7	6	3	0	0	35	10
平成29年度	51	26	10	4	4	1	65	31
平成30年度※	18	5	15	4	3	1	36	10

※平成30年度は、平成30年12月末日時点

3. 啓発活動

(1) 障害者虐待防止研修会 従事者向け研修

日時・会場	出席者	内 容
平成30年 10月5日(金) 9:45~12:30 松戸市民会館301号	56名	① 講演:「勇気を持って、相談・通報しよう」 みぎわ法律事務所 所長 弁護士 神保 正宏 氏 ② グループワーク

(2) 障害者権利擁護講演会(市民向け)

日時・会場	出席者	内 容
平成31年 2月23日(土) 14:00~16:00 流通経済大学 新松戸キャンパス講堂 (予定)	—	① 講演:「わかりやすい法律説明」 みぎわ法律事務所 所長 弁護士 神保 正宏 氏 ② トーク&ライブ 立木 早絵 氏(シンガーソングライター)

【成果】

1. 障害者虐待の対応・終結過程に関する報告と検証

過年度からの継続件数は25件、平成30年12月末日時点における今年度の新規受理件数は36件となっており、これらについて事務局から報告を受け、検証を行っている。

前回報告のとおり、昨年度、事例の検証に追われ、課題整理や啓発といった事例検証以外の事項について十分に協議を行なえなかった反省から、今年度よりコアメンバー会議との間で役割分担の見直しを行った（下表参照）が、この見直しにより、昨年度より円滑な部会の運営ができています。

検討事項	～平成29年度		平成30年度～
対応方針の決定	コアメンバー会議にて策定した方針案について、権利擁護部会にて検証し最終決定	⇒	コアメンバー会議（※）にて決定 （権利擁護部会は、決定内容の報告を受け、助言を行う）
終結の決定	コアメンバー会議にて終結と判断されたものについて、権利擁護部会にてその可否を決定	⇒	コアメンバー会議（※）にて決定 （権利擁護部会は、終結した事例について、終結過程の検証を行う）

（※）コアメンバー会議の強化のため、構成員に、権利擁護部会員の神保弁護士を追加。（構成員：弁護士、基幹相談支援センター職員、障害福祉課職員）

2. 予防・啓発活動

障害者虐待防止に関する講演・研修を継続的に実施しており、昨年度に引き続き、施設職員向け研修会と市民向け講演会を開催することとしている。

平成30年10月5日に施設職員向け研修会を開催したが、講演については「非常に参考になった」との回答が85.4%、「一部参考になった」との回答が12.2%、グループワークについては「非常に参考になった」との回答が80.0%、「一部参考になった」との回答が14.3%というアンケート結果となった。この結果から、今回の研修は非常に効果的なものであったと考えている。なお、児童発達支援・放課後等デイサービスが全参加者の3分の1を占めているといったように、参加者の所属する事業所の種別に偏りがみられた。より多くの種別の事業所に参加いただけるよう、内容等の見直しを行っていきたいと考えている。

また、市民向けの講演会については、平成31年2月23日に「障害者権利擁護講演会」として、虐待防止・差別解消の双方を含んだ内容で、障害者差別解消支援地域協議会と合同にて開催する予定となっている。この講演会を通じ、住民の皆様に障害や障害者についての理解を深めていただき、障害の有無に係らず、全ての住民がお互いに尊重しあいながら暮らしていける地域の実現を目指していきたい。

【課題】

1. 居室の確保

緊急避難先としての居室の確保については、従来より確保に苦慮している。

しかし、今年度初めて、障害福祉サービスの指定を受けた、特別養護老人ホームの短期入所を緊急避難先として利用するという事例があった。

障害福祉サービスの短期入所は、制度面や報酬上で、参入のハードルが高いとの指摘もあり、現状では急速な拡大は見込めないことから、障害福祉に参入した介護保険サービス事業所との連携強化も図っていききたい。

2. 障害者権利擁護ネットワークの強化

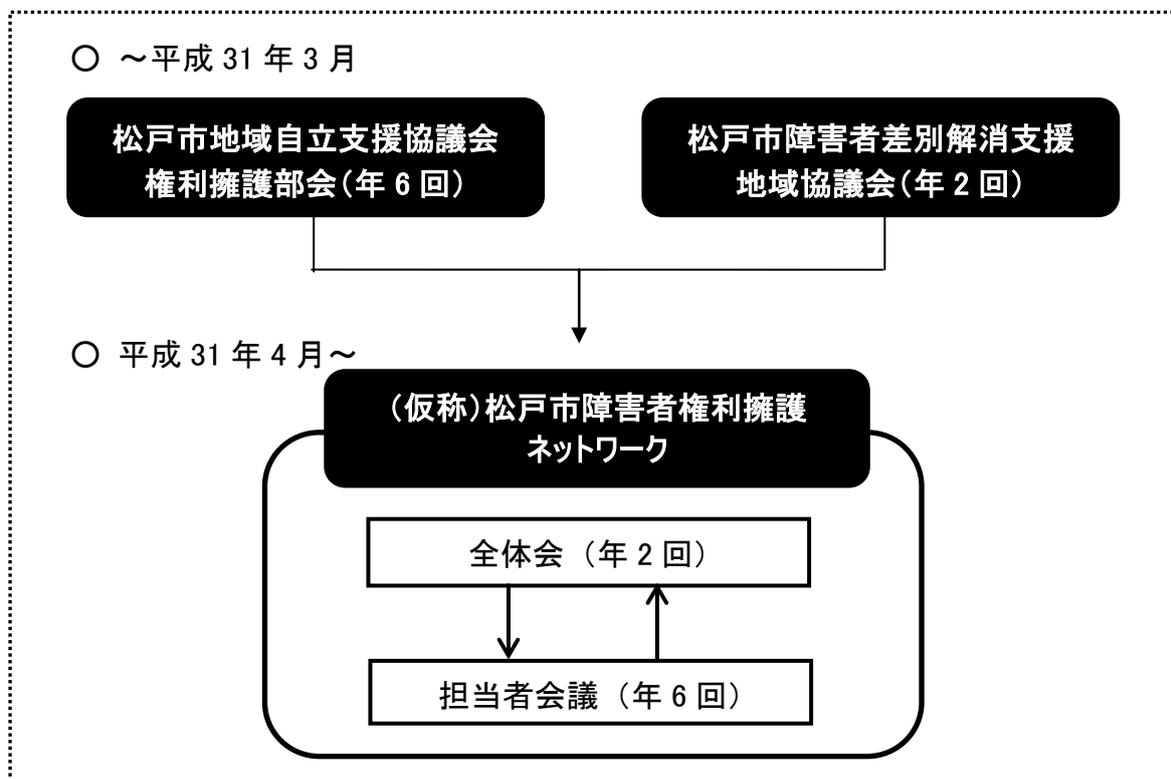
前回会議においては、虐待への対応力を強化するために、高齢者や児童の分野での先行事例を参考に、権利擁護部会を自立支援協議会から独立させ、代表者会議と実務者会議の二層からなるネットワークとして改組する方針であることを報告した。

前回報告の後、同じ障害者の権利擁護という観点から、「松戸市障害者差別解消支援地域協議会」との連携や情報共有の在り方について検討を行ってきた。

その結果、「権利擁護部会から発展するネットワーク」と「松戸市障害者差別解消支援地域協議会」とを統合し、平成31年4月に「（仮称）松戸市障害者権利擁護ネットワーク」（下図参照）を設置する方向性となった。

この方向性について、委員の皆様からご承認をいただきたいと考えている。

なお、自立支援協議会から独立するものの、活動状況等については、これまで同様に報告させていただく予定である。



平成30年度 松戸市地域自立支援協議会 こども部会

【活動目的】

1. 障害のあるこどもとその家族の「相談と支援」について、現状と課題の共有
2. 障害のあるこどもとその家族が安心して生活するために必要な「支援」についての検討

【活動内容】

1. ライフサポートファイルについての検討（以下 LSF）
2. 早期相談支援マップの活用についての検討

【平成30活動実績】

(1) 会議開催

会場：ふれあい22

日 程	内 容
第1回 4月26日（木）	① 委員自己紹介 ② 前年度振り返り、今年度活動内容確認 ③ LSF 内容検討
第2回 5月24日（木）	LSF の配布方法、後追い方法、周知方法検討
第3回 6月28日（木）	LSF の周知方法（相談支援専門員向け研修、広報まつど）検討
第4回 7月26日（木）	LSF の内容最終決定、周知方法（広報まつど、チラシ）検討
第5回 8月23日（木）	LSF のチラシ最終決定
第6回 9月20日（木）	①LSF 医ケア児向けアンケート結果共有 ②部会下半期のスケジュール確認
第7回 10月25日（木）	①LSF 配布状況、反応の共有 ②早期相談支援マップを使った勉強会
第8回 11月22日（木）	①LSF 配布状況、反応の共有 ②早期相談支援マップを使った勉強会
第9回 12月20日（木）	①早期相談支援マップ（修正版）の内容検討 ②次年度のテーマ検討
第10回 1月24日（木）	①次年度のテーマ決定 ②早期相談支援マップの配布対象検討

【成果】

1. ライフサポートファイルについて ※12月末時点

(1) 配布数

140冊（うち医療的ケア児：40冊）

(2) 配布場所

こども発達センター 74冊（52.9%）

障害福祉課 22冊（15.7%）

教育研究所 2冊（1.4%）

基幹相談支援センターCoCo 2冊（1.4%）

郵送 40冊（28.6%）

子育て関係の機関へ広く周知を行った（詳細は後ほど事務局から報告）ことで支援が必要なお子さんへ、一定数手元に届けることができた。配布時、利用者に対して今後のアンケート送付について了承を得ているため、フィードバックを受け、より活用しやすい内容や環境づくりに活かすことができる。

2. 早期相談支援マップについて

昨年度とりまとめたものについて、部会員が日々の業務の中で実際に利用し、分かりづらい箇所や不足分を修正したことで、より活用しやすい内容にブラッシュアップすることができた。また、部会員同士で掲載されている資源について、具体的な場面を想定した活用方法を質問し合う勉強会を開催したことで、部会員自身もスキルアップすることができた。

【課題】

1. ライフサポートファイルについて

目的は配布することではなく、その活用と定着であるため、書く機会の確保と活用場面の周知、内容の改善など今後のフォロー体制が重要である。配布時、利用者に対して障害福祉課からの電話連絡を希望するかどうかアンケートを実施しており、希望者について、2月頃に一齐に連絡を取る予定である。その際に書きづらい箇所について個別に相談に乗ったり、NPO法人が定期的実施している「ライフサポートファイル作ろう会」を案内したり、春から環境が変わる場合の活用方法をお伝えしたりすることで書き始めるきっかけになることを狙う。また、来年度実施予定のアンケートをふまえて内容の修正を行い、さらなる活用と定着に向けて検討を継続する。

2. 早期相談支援マップについて

早期相談に繋がれない原因は、そもそも支援に繋がることが難しい場合と、支援に繋がった後、何らかの困難（家族の拒否、支援者のチーム力不足、資源不足など）によって途絶えてしまう場合が考えられる。早期相談支援マップを使って資源を整理しながら、個別事例の検討を通じて地域の課題抽出を行い、障害児の早期発見・早期支援

システムを構築するために必要なものを分析していく必要がある。

【次年度の活動内容（予定）】

会場：ふれあい22

日 程	内 容
4～5月頃	①早期相談支援（松戸市と先進市の施策の理解） ②LSF（アンケート内容検討）
6～3月頃	①早期相談支援（個別事例検討と地域課題の抽出、対応策の検討） ②LSF（書く機会づくりや改善に向けた検討）